ホワイト・ウエスティングハウス

White-Westinghouse

取扱説明書

全自動食器洗い機

FFBD2408

このたびホワイト・ウエスティングハウスの全自動食器洗い機をお買い上げいただきましてありがとうございました。
この食器洗い機を有効にご利用いただくため、この説明書をご熟読の上、大切に保管してください。

総輸入元
株式会社 ツナシマ商事

目次

１．安全上のご注意（必ずお守りください）1
２．ご使用の前に 3
３．各部の名称 4
４．ご使用方法 5
５．お手入れについて 15
６．故障かな？と思ったら 18
７．保証とアフターサービス 22
８．消費者生活安全製品法 (消安法) について 23
９．仕様 26

1．安全上のご注意（必ずお守りください）

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
●表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しています。

⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が損害を負う可能性が想定される内容及び、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

- この絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
- この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

⚠警告

火気禁止	火のついたロウソク、蚊取り線香、煙草などの火気や揮発性の引火物を近づけないでください。変形や火災の恐れがあります。
水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしないでください。ショート・感電の恐れがあります。
禁止	運転中は本体に衝撃を与えないでください。感電や漏電･ショートによる火災の恐れがあります。
禁止	子供など、取扱いに不慣れな方には使わせないでください。やけど・けが・感電する恐れがあります。
アース接続	アースを確実に取付けてください。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
!	電源プラグの刃、及び刃の取付面にほこりが付着してる場合はよく拭いてください。火災の原因になります。
注意喚起	お子様が中に入らないように注意してください。使用後は必ずドアを閉めてください。中からドアは開きません。
!	定格の単相 100V、15A のコンセントを単独で使ってください。
!	煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに専用回路のブレーカーを切ってください。感電や漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。必ずお買い求めの販売店かツナシマ商事に点検・修理を依頼してください。
分解禁止	改造はしないでください。また、修理技術者以外の人は、分解や修理をしないでください。火災・感電・けがの原因になります。修理は販売店またはツナシマ商事へご相談ください。
接触禁止	食器の取り出し、フィルターの掃除、お手入れは運転終了後 30 分以上経過してから行ってください。やけどをする恐れがあります。

⚠注意

指に注意 ドアを閉めるとき、指のはさみこみに注意してください。 けがの恐れがあります。	禁止 運転中は、ドアを開けないでください。 高温の洗浄水や湯気が出て、やけどをする恐れがあります。 やむを得ず開ける場合は、P5の〃洗浄の途中で食器を追加する方法〃をご参照ください。
禁止 開いたドアに乗っかったり、ぶら下がったりしないでください。 破損や変形の原因になります。	

2．ご使用の前に

輸送や梱包等のために、ホコリやテープのあとが残っている場合があります。
ご使用される前に、一度ノーマルウォッシュ (Normal Wash) で空運転をしてホコリなどを落としてください。
テープのあとはアルコールを浸した布で軽く拭くときれいに取れます。
シンナーやベンジン等は塗装を傷めますので、絶対に使用しないでください。

給湯温度について

●本機器は給湯専用機です。給湯温度は本体の洗浄槽に入る時点で 50℃～ 60℃になるように給湯器を調節してください。給湯温度が低いと汚れが充分に落ちなくなり、乾燥効果も得られません。また表示されている運転より多くの運転時間が必要になります。

●瞬間湯沸器をご使用の場合は、食器洗い機の近くの蛇口をひねって湯温が十分に高くなったことを確かめてから蛇口を閉じ、食器洗い機を運転してください。

●給湯器が貯湯式であっても食器洗い機のそばに設置されていない場合は近くの蛇口をひねって湯温が十分高くなったことを確かめてから蛇口を閉じ、食器洗い機を運転してください。

お願い

台所用液体洗剤は少量でも使わないでください

必ず食器洗い機専用洗剤をお使いください。
台所用液体洗剤は、泡が多量に発生し洗浄が十分できません。
また、水漏れや故障の原因になります。

本機では洗えないものがあります

次のものは、この食器洗い機で洗わないでください。
・カットガラス、クリスタル類
・漆塗り食器（重箱、箸など）
・金箔入りの食器
・銀製、洋銀製食器など
・びん、とっくりなどの口が狭い食器や容器
・ひびの入った食器など
・耐熱 90℃以下や温度表示のないプラスチック食器、容器
・接着剤で七宝やセラミックなどの飾りを付けたスプーンなど
・アルミ製の食器、鍋、パットなど
・ふきんやスポンジなど
変形、くもり、変質、変色、はがれ、割れなどの原因になります。

落ちない汚れがあります

こびりついた茶渋や口紅の汚れは、落ちない場合があります。
手洗いしても落としにくい焦げ付きなどの汚れは、そのまま入れてもきれいに洗えません。事前に手洗いをしてください。また、手洗い後洗剤が残らないように十分に洗い流してください。

本機は家庭用です

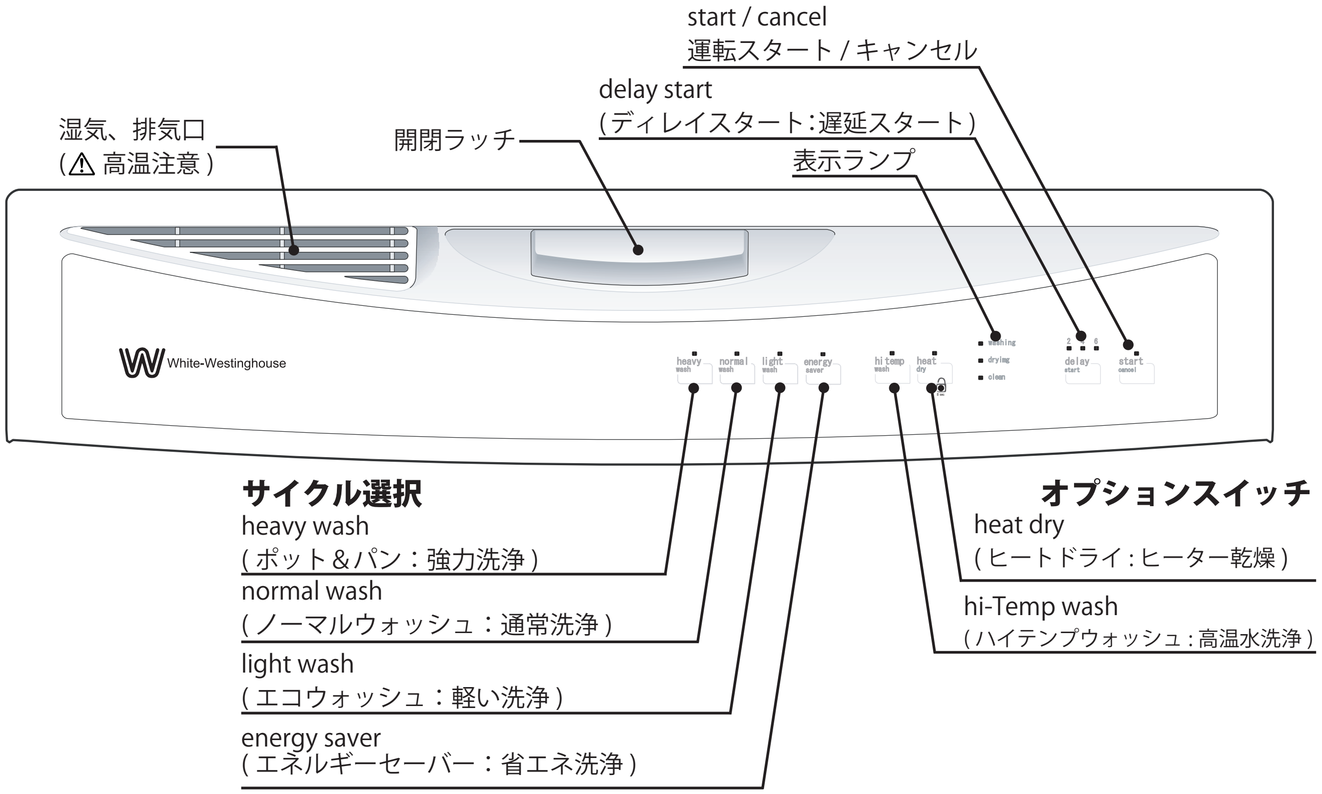
本機は家庭用のため、業務用のような使用頻度の高い使い方はしないでください。著しく寿命が短くなります。
この場合の修理は、保証期間中であっても有料になります。

寒冷地でのご使用について

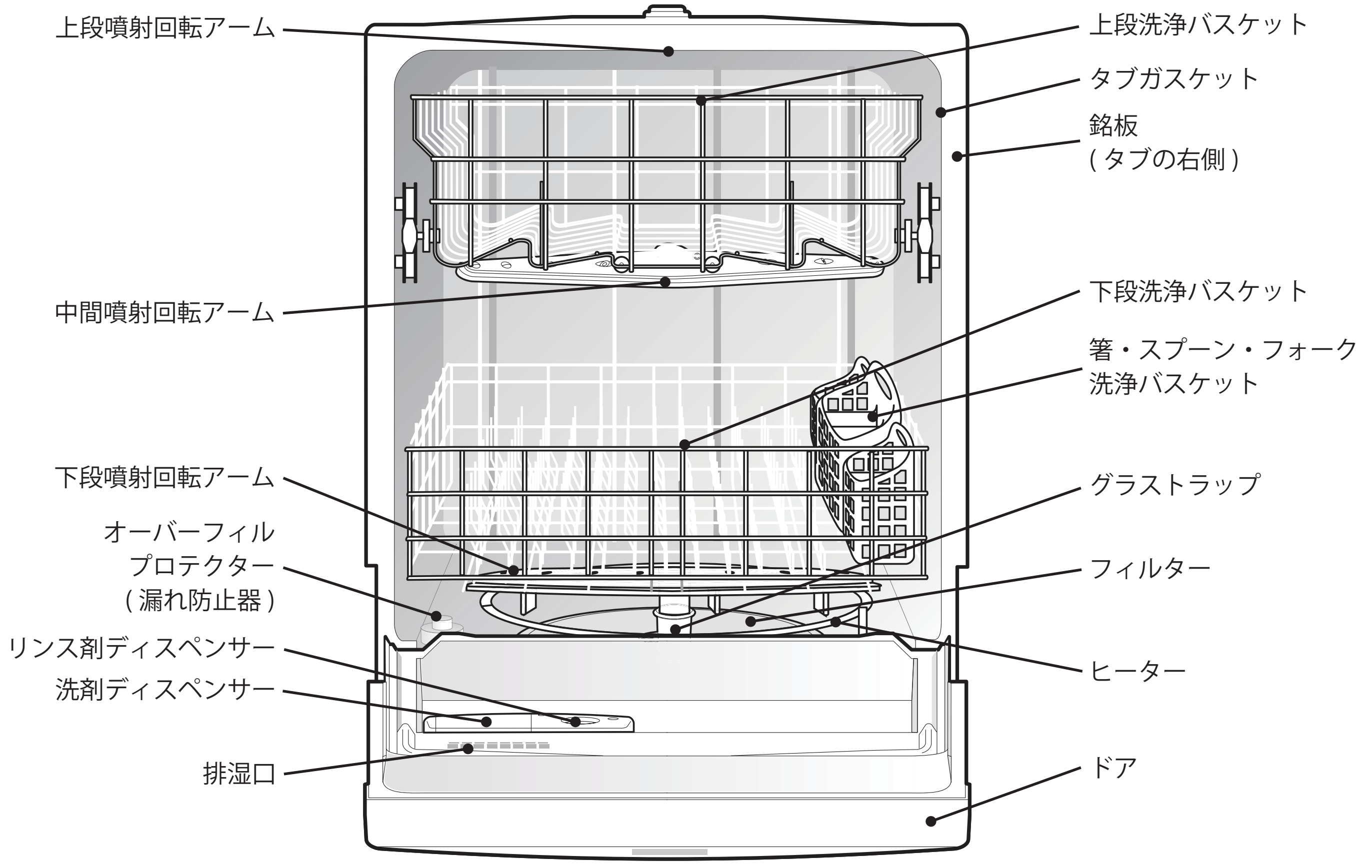
凍結の恐れがある場所（室温 0 ℃以下）へは、設置しないでください。
また、冬季にご使用にならない場合は、内部に残った水が凍結して給水弁や配管を破損する恐れがあります。
水抜き作業が必要のため、お買い求めの販売店かツナシマ商事までご連絡ください。

3．各部の名称

操作パネルの名称



内部の名称



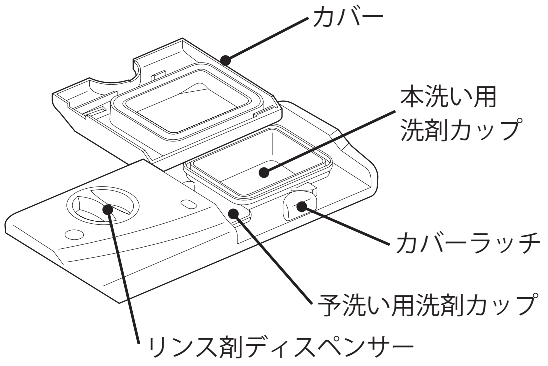
4．ご使用方法

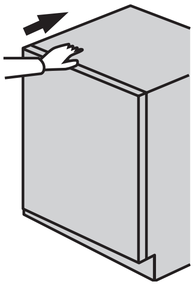
基本的な運転の順序

1．食器を庫内に入れます。(予洗いの必要はありませんが、庫内に食器を入れる前に大きな残菜のみを取除いてください)

2．小さじ 1 ～ 3 杯の食器洗い機用洗剤を洗剤ディスペンサーに入れてカバーを閉じます。

3．リンス剤がリンス剤ディスペンサーに入っているかを確認します。必要な場合は投入してください。

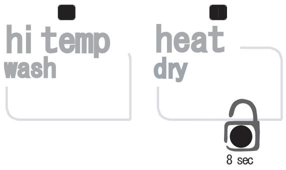




4．開閉ラッチ付近を押してドアをしっかりと閉めてください。

5．洗剤サイクルを選択します。

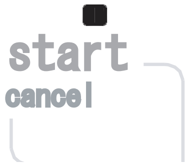
6．オプションを選択します。選択したオプションのランプが点灯します。



7．給湯システムを最高温度に設定し、一番近くのシンクでお湯を出します。十分に熱くなりましたら蛇口を締めてください。

注：給湯温度が低いと、洗浄不良、乾燥不良及び運転時間が長くなります。

8．Start / Cancel パッドを押すとスタートします。



※各種設定方法などの詳細は次ページ以降を参照してください。>>>

洗浄の途中で食器を追加する場合

洗浄サイクル開始後の食器の出し入れは次の手順で行なってください。

●ドア上部中央の開閉ラッチを押し上げ、ゆっくりドアを開けてください。

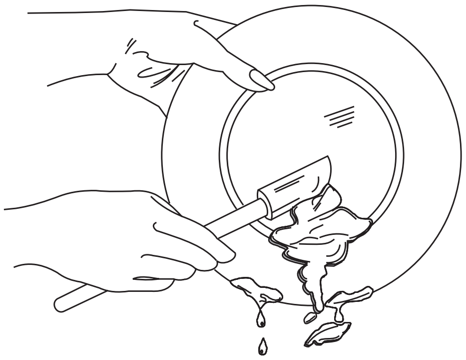
●熱気が充満している場合は、冷たい空気と入れ替わるまでしばらく待ってから食器の出し入れを行なってください。

●ドアの上部中央を押してラッチを掛けると、電源スイッチ入り洗浄サイクルが再開されます。

サイクルを途中で変更する場合

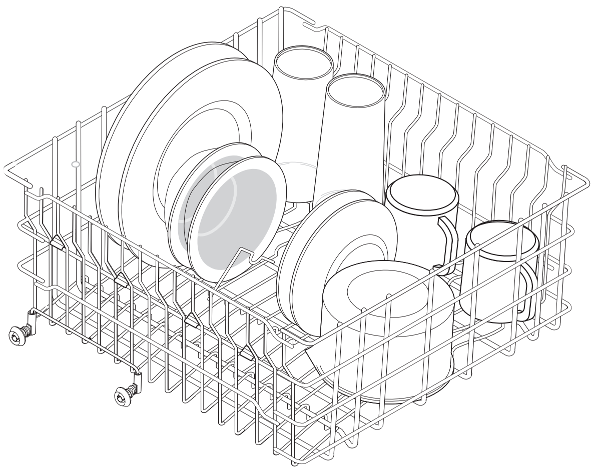
サイクルの途中でも作業をキャンセルすることができます。Start / Cancel パッドを長押しすると排水が作動し、約 90 秒後排水が終了します。機器が停止後、希望するサイクルを選択してください。

洗浄準備と食器類の入れ方 (1)



大きなかたまりの食べ残しや魚の骨、たねやつまようじなどはバスケットに入れる前に取除いてください。皿などに付いた食べ物の汚れは食器洗い機で洗い流しますので、手で予洗いする必要はありません。鍋や食器にがんこにこびり付いたこげなどはバスケットに入れる前に水に浸し、やわらげて取除いてください。

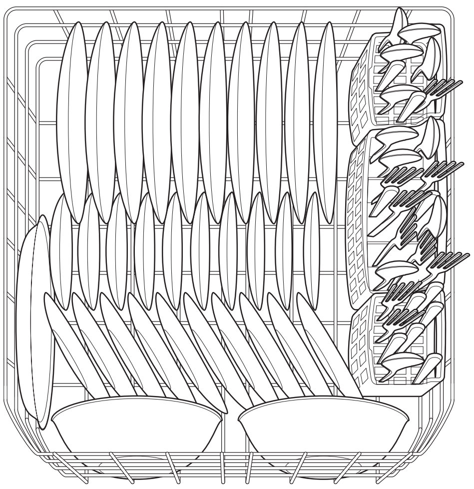
洗浄準備と食器類の入れ方 (2)



●上段洗浄バスケットは茶わんやコーヒーカップ、小皿、ボール等を入れ、洗浄するように設計されています。

●ガラス製品やプラスチック製のカップや容器等は上段バスケットに入れてください。下段洗浄バスケットに入れると下部噴射回転アームや電気ヒーターの影響を受け破損、変形、焼損する場合があります。

洗浄準備と食器類の入れ方 (3)



ドア上部中央の開閉ラッチを上へ持上げ、手前へ引き、ドアが水平になるまで開きます。そのドアの上に下段洗浄バスケットを引き出し食器類、鍋類を入れてください。

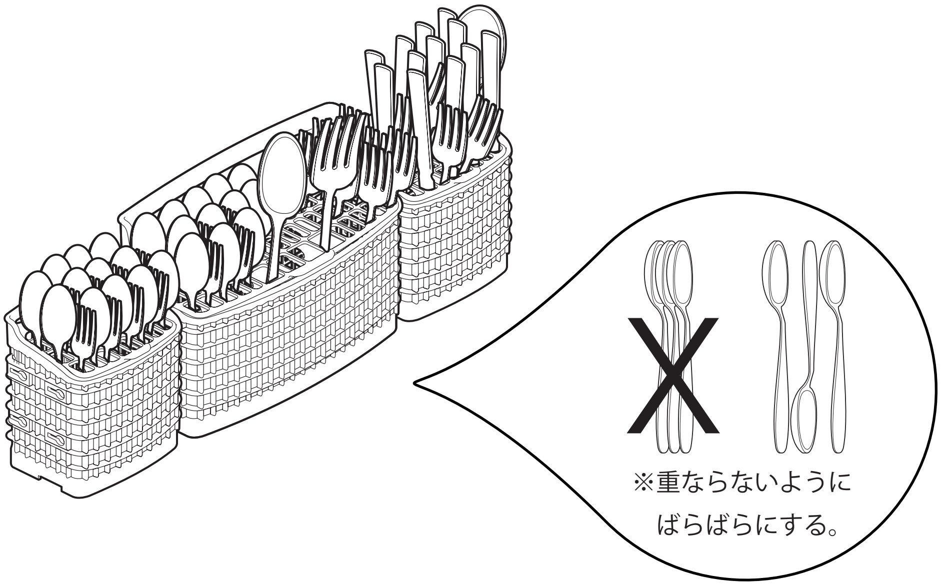
●中皿、大皿、ボール、お鍋、フライパン等を洗浄するためのバスケットです。
下部噴射回転アームから噴射される洗浄水が表面に当たるように角度をつけて入れてください。重ねて入れてしまうと、洗浄水が平均的に当たらず汚れが残ってしまいます。

●フライパン等の柄等がバスケット底の網目より出ないように入れてください。柄等が下部噴射回転アームに接触し、アームの動作の妨げとなります。

●スプーン、フォーク等は専用洗浄バスケットをご使用ください。バスケットの底の網目からこれが突き出ると下部噴射回転アームの妨げになります。

はし・スプーン・フォーク専用洗浄バスケットの使い方

●はし、スプーン、フォーク等を立てて洗浄する専用バスケットです。スプーン等が重なり合うと汚れが落ちにくくなるのでばらばらになるように入れてください。(※下図 参照)
●はし等は太い方を下にして入れてください。
底の網目からはし等が突き出ると、下部噴射回転アームの回転の妨げとなります。
●このバスケットを使用しない時は、取外し、他のお鍋等の洗浄スペースとしてご利用になれます。



⚠ 注意

●はしの洗浄は、食器洗い機で洗浄出来るものに限ります。漆塗りのはしや漆器等は洗浄出来ません。
●スプーン・フォーク・ナイフ等を洗浄する場合、銀製とステンレス製を一緒に入れないでください。
接触したまま洗浄すると銀製品にしみを付ける場合があります。

洗浄の途中で食器を追加する方法

洗浄サイクル開始後の食器の出し入れは次の手順で行なってください。
●ドア上部中央の開閉ラッチを押し上げ、ゆっくりドアを開けてください。
●ドアを開けた時、洗剤ディスペンサーのフタが開いている時は食器等の追加はご遠慮ください。洗浄不良となります。
●熱気が充満している場合は、外の冷たい空気と入れ替わるまでしばらく待ってから食器等の追加を行なってください。
●ドアの上部中央を押してラッチを掛けると、電源スイッチが入り洗浄サイクルが再開します。

⚠ 注意

●食器等の出し入れは、庫内の温度が十分下がってから行なってください。
やけどをする恐れがあります。

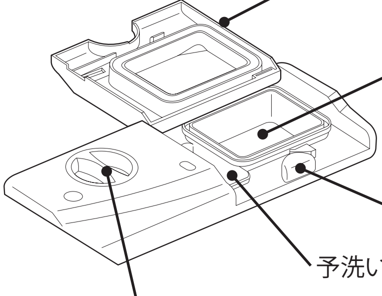
プログラム例一覧

品 名	手 順	セットするサイクル		注 意 事 項
		オプション (OPTIONS)	サイクルパッド	
陶器、ガラス製品、日常使用する食器類、食器洗い機で使用しても安全な陶器	大きな食器類は下段バスケットに置き、小さなものは上段バスケットに置く。汚れてる面を噴射回転アームに向けてください。	任意選択	通常洗浄は normal wash あまり汚れていない食器類は light wash にセットする。	●現在使用されているほとんどの陶器は食器洗い機に使用しても安全ですが、念のため陶器メーカーに問い合わせるか、食器の色があせるかどうかを調べてください。手陶器は手で洗ってください。
コップ類	外側の網目にもたれさせて置くか、網目の上端にかぶせておいてください。	任意選択	通常洗浄は normal wash あまり汚れていない食器類は light wash にセットする。	●手書きやプラチナ金でふち取りしたガラス製品、クリスタルグラスは色があせたり、くもりが出ることがあります。手で洗ってください。
刃物類	上段バスケットに置いてください。	任意選択	light wash 又は normal wash	●取扱上の注意をメーカーに問い合わせてください。鋳造品等の良質の刃物類は食器洗い機で洗わないでください。
台所用品、ヘラ、はさみ、大型のナイフ	特に長いものはガラス製品やコップ類のふちにぶつからないようにするために他の物の下か、間に入れて上段バスケットの中央に置いてください。	任意選択	normal wash	●柄がついた台所用具はメーカーの指示がない限り手で洗ってください。
プラスチック製の食器類	小さいものは上段バスケットに置いてください。	全て “Off”	normal wash	●製品が食器洗い機で洗ってもよいかラベルを見て確かめてください。
プラスチック製の茶碗やコップ類	手で洗う。	—	—	●コップや冷蔵庫で使用するようなプラスチック製品は乾燥中、熱に当てると、柔らかくなったり変形したりすることがあります。
木製品 ゴム製品	同上	—	—	●木製品はそったり、ひびが入ったり、表面のツヤが無くなることがあります。ゴム製品は変質することがあります。

品 名	手 順	セットするサイクル		注意事項
		オプション (OPTIONS)	サイクルパッド	
水に浸すことのできる電気フライパン、シチュー鍋、コーヒー沸かし	上段バスケット、又は下段バスケットに置いてください。	hi-temp wash “On” heat dry 任意	heavy wash	●食器洗い乾燥機で洗えるかどうかメーカーに問い合わせてください。洗う前にコードと温度調節機を外したかを確認してください。
テフロン加工したもの (焦付き防止加工したもの)	上段バスケット、又は下段バスケットに置いてください。	hi-temp wash “On” heat dry 任意	heavy wash	●食器洗い乾燥機に入れる前に、こびりついた汚れはプラスチックのたわし等で落としてください。
鍋 (ステンレス製)	上段バスケット、又は下段バスケットに置いてください。	hi-temp wash “On” heat dry 任意	heavy wash	●焦付いた汚れの場合は食器洗い機に入れる前に前もって水に浸す必要があります。しつこい汚れはスチールウールかプラスチックたわしで汚れを落としてください。
鋳物類	手で洗う。	—	—	●これらの製品の表面には調理をしやすくするための焦付き防止の膜が付いています。食器洗い乾燥機用洗剤や高熱がその膜をはがしてしまいます。
焼き肉用鍋 ブロイラーパン	上段バスケット、又は下段バスケットに置いてください。	hi-temp wash “On” heat dry 任意	heavy wash	

※古い大皿や金やプラチナでふち取りしてある大皿は色があせることがあります。骨董品や手書き陶器は手で洗ってください。

洗剤ディスペンサーと洗剤について



洗剤ディスペンサーについて

●洗剤ディスペンサーは予洗い用洗剤カップと本洗い用洗剤カップがあります。
下記の表を参照して、洗剤の量を決めてください。

●予洗い用洗剤カップにはカバーの部分が格子状になって入るため、本体のドアを閉じた際に庫内に洗剤が投入されます。

●本洗いに入るとカバーが開きますので、本洗い用洗剤カップ内の洗剤が庫内へ投入されます。

洗剤の量について

●洗剤メーカーや洗剤の種類によって入れる量は異なりますが、使い始めは洗剤ケースに記載されている量の 2/3 程度、または下記の表を参照して量を決定してください。

サイクル	heavy wash normal wash	light wash	rinse only
予洗い用洗剤カップ	8 ～ 10 g (約小さじ 2 杯)	—	—
本洗い用洗剤カップ	8 ～ 10 g (約小さじ 2 杯)	8 ～ 10 g (約小さじ 2 杯)	—

※上記の表の数値は上段と下段の両方の洗浄バスケットに食器を一杯に入れた場合の目安です。食器の汚れが多い場合や、洗浄する食器の点数が少ない場合など、条件に応じて洗剤量を増減してください。

⚠ 注意

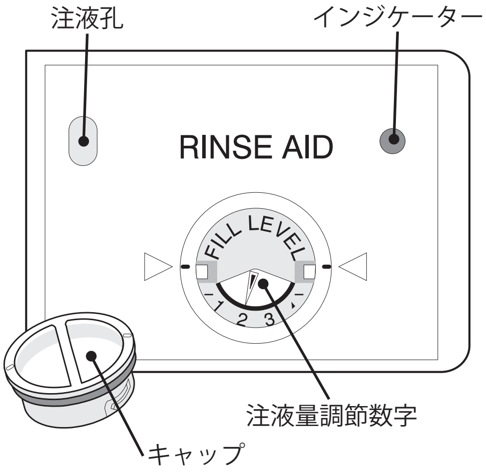
●洗剤は必ず食器洗い機専用の物を使用してください。長期保管し、古くなった洗剤のご使用は避けてください。また、中性洗剤等を使用すると、異常な泡立ちによる漏水を引き起こします。

●適切な食器洗い用洗剤を使用しても、食器に洗剤が残ったり、空運転をした際に泡が発生したりする場合は洗剤過多です。漏水や機器の不具合を引き起こす可能性もありますので、洗剤量を少なくしてください。

●洗剤は湿気のない涼しい場所で保管してください。また、洗剤をディスペンサー内に放置せず、本機を使用する前に入れてください。洗剤が湿ったり固まったりして溶けにくくなり、汚れ落ちが悪くなります。

リンス剤 (乾燥仕上剤) ディスペンサーの使い方

リンス剤ディスペンサー



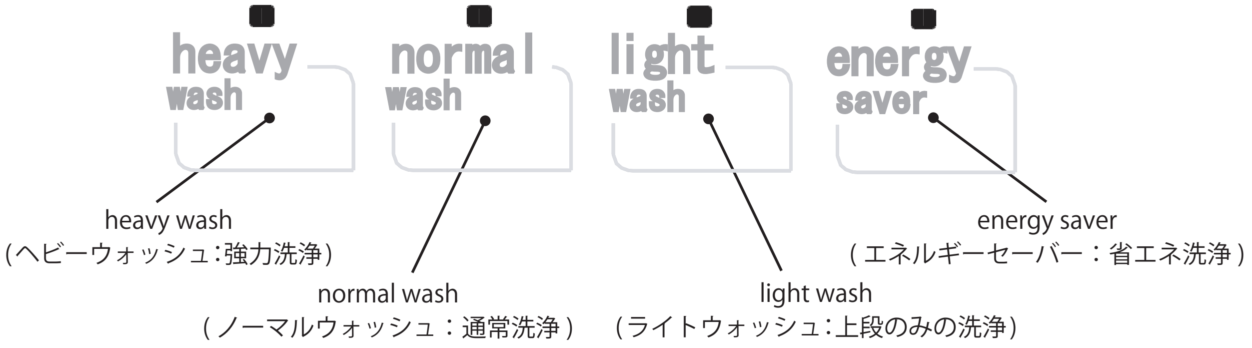
リンス剤について

リンス剤は最終すすぎで自動注液され、食器類の表面の水を流れやすくし、乾燥を促進します。グラス等の洗浄あとにつく水滴模様などを取除くために便利です。使用方法はディスペンサーの中へリンス剤を入れておけば自動的にすすぎ水の中へ注液されます。

リンス剤の入れ方と調節

ディスペンサーのキャップを左 (反時計方向) へ 1/4 回して取外し、その口からリンス剤を入れます。インジケーターが黒に変わると満タンを示します。リンス剤を使い切り、空になると、白に戻りますので補充してください。キャップを取外したディスペンサーのリンス剤投入口の外周部に 1 ～ 4 の数字がありますが、これは注液量の調節数字で中央の矢印を合せます。“4” に近づくに従って注液量は増えますが、通常は “1” でご使用ください。
リンス剤の注入、注液量の調節が終わりましたら、キャップをはめ、右 (時計方向) へ回してキャップの印をディスペンサー側両端の矢印にピッタリ合わせ、水平になるまで締めてください。

サイクル選択ボタンと運転サイクルについて



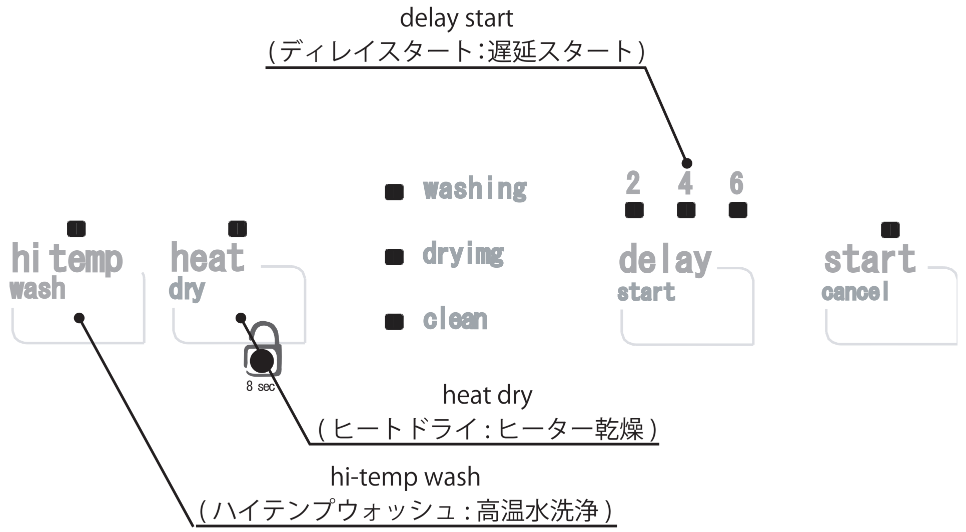
サイクル	選択方法	水量 （リットル）	時間（※） （分）	洗浄 / リンス （回）
heavy wash（強力洗浄） ナベ、フライパン、グラタン皿 焦付きのある食器	heavy wash と必要なオプションを選択してください。 hi-temp wash が自動的に選択されます。	34.7	150	4/4
normal wash　（通常洗浄） 通常の汚れの食器やカトラリー	normal wash と必要なオプションを選択してください。	19.7	105	3/2
light wash　（ライト洗浄） 汚れが少なく、一度リンスを行なった食器やカトラリー	light wash と必要なオプションを選択して下さい。	17.8	90	2/2
energy saver　（省エネ洗浄） 汚れが少なく、一度リンスを行なった食器やナイフ・フォーク類で上段バスケットに納まる量の場合	energy saver と必要なオプションを選択してください。	17.4	90	2/2

注：上記の数値は目安です。給湯温度など、洗浄条件により数値は変化します。※乾燥時間も含みます。

運転表示ランプについて

washing （洗浄）	作動が始まると点灯し、メインウォッシュが終了するまで点灯し続けます。
drying （乾燥）	乾燥サイクルの間点灯し続けます。このランプはどの乾燥オプションを選択しても点灯します。
clean （クリーン）	サイクル終了後に点灯し、ドアが開けられるまで点灯し続けます。(rinse only を選択した場合は、点灯しません）

オプションについて



hi-temp wash (ハイテンプウォッシュ)
ハイテンプウォッシュを選択すると、メインウォッシュでの湯温をおよそ 60℃まで上げます。
湯温が上がると洗剤が食べかすや油汚れを食器から落とす能力が向上し、乾燥効果が高まります。ハイテンプウォッシュのオプションは、リンスオンリーを除く全てのサイクルで選択できます。ハイテンプウォッシュはヘビーウォッシュを選択した場合は自動的に選択されます。ハイテンプウォッシュが選択されると、パッドの上のランプが点灯し、サイクルが終了するまで点灯し続けます。ハイテンプウォッシュのオプションを解除する場合は、同じパッドを再度押してください。パッドの上のランプが消えます。

heat dry (ヒートドライ)
リンス剤を使用し、さらにこのオプションを選択すると乾燥効率がより向上します。ヒートドライを選択しないこともできますが、サイクルの終了後に食器が十分に乾いていない場合があります。また、このオプション設定 / 解除は動作中いつでも行なうことができ、その内容により乾燥時間が変化します。乾燥サイクルの間に 1 分間以上ドアを開けたままにすると乾燥プログラムがキャンセルされます。

delay start (ディレイスタート)
それぞれ 2・4・6 時間後に遅延して機器を始動させるためのオプションです。パッドを 1 回押すと 2 時間後、2 回押すと 4 時間後、3 回押すと 6 時間後に始動するように設定でき、該当する時間の上のランプが作動を開始するまで点灯します。
設定を解除して機器を始動させる場合は、start / cancel パッドを押してください。

⚠ 注意

●乾燥サイクルの間に排湿口から湯気が出ることがあります。
排湿口には手を触れないでください。
やけどをする恐れがあります。

洗浄性能に影響する要素

最高の洗浄、乾燥効果を得るために、次の要素が大切です。点検と注意をお願いいたします。

給湯圧

食器洗い機への給湯圧は 0.13 ～ 0.82MPa(1.4 ～ 8.4kg/cm^2) を必要とします。
同じ湯沸し器の給湯経路で洗濯機、シャワー等を同時使用すると食器洗い機への給湯圧が下がり、うまく機能しません。

給湯温度

湯温も洗浄や乾燥の仕上げに影響します。
供給される湯温本体の洗浄槽にはいる時点では 50 ～ 60℃の範囲になければなりません。

洗浄時間

庫内の水温が低い場合は、内臓ヒーターで十分に水温を上げるまでタイマーの進行を遅らせることがあります。この機能はオプションを選択していない場合でも働きますますので、ハイテンプウォッシュが選択されている場合には、さらに時間が掛かる場合があります。

⚠ 注意

●食器洗い機を始動する前に、食器洗い機の近くのシンクでお湯を流してください。
給湯管内の冷水を完全に逃がし、温水 (50 ～ 60℃) が出てきた事を確認してから始動させてください。
給湯温度が低いと、運転時間が長くなったり、洗浄不良、乾燥不良となることがあります。

安全上の注意

⚠ 警告

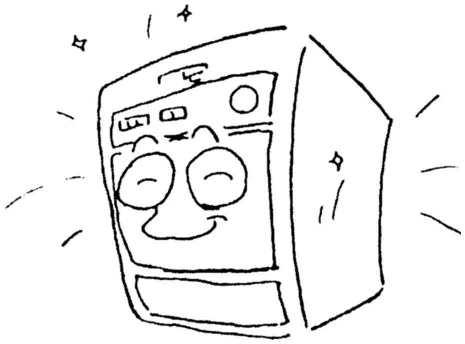
●運転中または、運転終了後 30 分間は絶対に庫内やヒーター取付面に触れないでください。
●食器の取出しは、食器の温度が下がってから行ってください。
●フィルターの清掃、お手入れは運転終了後 30 分以上経過してから行なってください。
やけどするおそれがあります。

5．お手入れについて

⚠ 警告

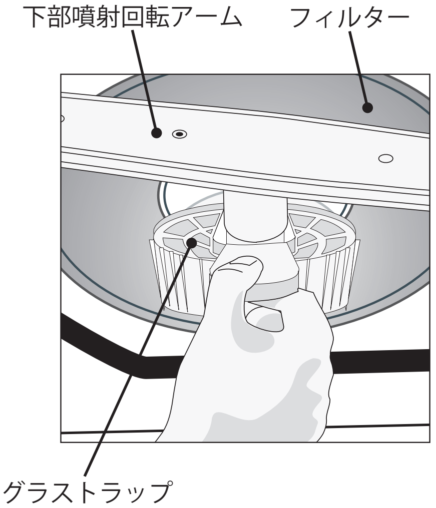
食器洗い機の内部を清掃する場合は、運転が終わり、30 分以上経過して過熱ヒーターが完全に冷めたことを確認してから行なってください。
やけどのおそれがあります。

外部の清掃



キャビネットの外側は研磨剤の入っていない中性洗剤を含ませたきれいなスポンジか布で汚れを落とし、その後、水を含ませたスポンジで拭取り、最後にやわらかい布で乾拭きをしてください。
タワシやクレンザー等は表面を傷付けますので、使用は避けてください。

フィルター・グラストラップ・噴射回転アーム



食器洗い機のフィルターは “ セルフクリーニングシステム ” を採用しているので、使用の都度清掃する必要はありません。大きな食品かすやグラスの破片などが “ グラストラップ ” に入った場合には、グラストラップの柄を左 (時計方向) へ約 180°回し、持上げて噴射回転アームと一緒に取外します。そして、かすや破片を取除き、清掃をしてから元の位置に戻してください。
フィルターは年に数回、上記方法と同様にグラストップ、噴射回転アームを取外した後にフィルターも取外し中性洗剤を薄めた液につけ、柔らかめのナイロンブラシで洗い流し、清掃してください。
噴射回転アームはグラストラップを取外したときに一緒に外れるので噴射口を竹串等でつつき、詰まりを取除いてください。

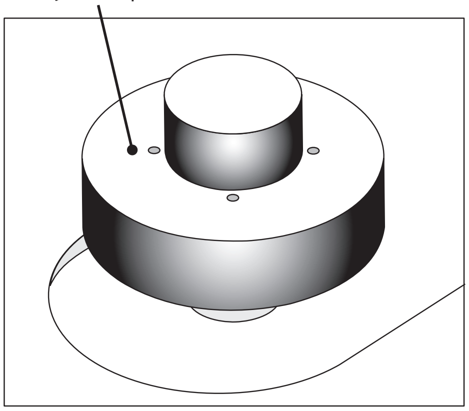
⚠ 警告

●グラストラップの取外しは食器洗い機の運転が終了してから、30 分以上経過し、乾燥ヒーターが完全に冷めたことを確認してから行なってください。
やけどするおそれがあります。

⚠ 注意

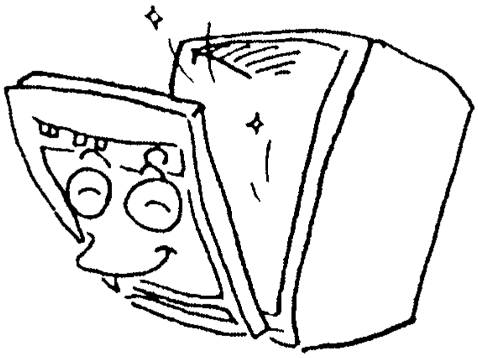
●各部の清掃が済みましたら食器洗い機を運転する前にフィルター・グラストップ・噴射回転アームは元の位置に戻してください。
正常運転が出来なくなります。

オーバーフィルプロテクター(溢れ防止器)



食器洗い機のドアを開くと、庫内の左手前にあるのがオーバーフィルプロテクターです。この仕組みはフロートスイッチになっており、庫内の水位が規定値以上になると、スイッチがオフになり、給水が停止します。また、何らかの原因で異常に水量が増え、庫内の水位が規定値以上になると給水を停止し、溢れを未然に防ぎます。フローとは水位によって上下動しますが、特にフロートの下側に物が挟まったり、ゴミが溜まるとフロートの動きが妨げられ、正確な水位を感知出来なくなるのでフロートの下側には異物が無い事を確認してください。

内部の清掃



内部は通常の使用できれいになっていますが、時々洗剤を含ませた布で、ドアまわりの内側やヒンジ付近を拭いてください。
クレンザーは使用しないでください。

※水が硬質の地域では、食器洗い機の庫内側に石灰が沈殿し、かたまりが出来ることがあります。ひどい場合は、下記の処方で清掃を行なってください。

〈処方〉

1．2つの容器(ステンレス製ボール等)それぞれにコップ1杯の酢を入れ、空にした食器洗い機に入れてください。
2．食器洗い機のオプションスイッチは使用せず、“normal wash” を選択し、“start/cancel” パッドを押してください。
3．最終すすぎ後、乾燥サイクルが始まる前に “start/cancel” パッドを長押してサイクルを止めてください。
4．ドアを開け容器を取出し、洗剤を入れて、“normal wash” を選択し、“start/cancel” パッドを押して乾燥まで運転してください。

食器類のトラブルとお手入れのしかた

食 器	お手入れのしかた
アルミニウム製品の変色	アルミニウム製品を食器洗い機で洗浄すると、変色したり、黒ずんでしまうため洗うことは出来ません。うっかり洗って黒ずんでしまった製品をきれいにするには、石けんをつけたスチールウールで磨いてください。
陶器の黒ずみ	使い捨てのアルミホイル製鍋は洗浄中にこすれて他の陶器に黒ずみができますので、使い捨てのアルミホイル製鍋は洗わないでください。
銀製食器のさび	使いこなした銀食器は湯水と洗剤によって金属部分が酸化し、青銅色に変わります。酢に 10 分程つけるか、銀食器用みがき粉を使用し、さびを取ってください。
皿やガラス製品を傷つけないために	手荒に扱ったり、正しく置いていない場合、製品を傷つける原因となります。他のものとガラス製品を接触させて置かないでください。水圧で製品が動き、傷つく原因となりますので、網目の間にしっかりとたてかけて置いてください。
コーヒーの汚れや茶しぶ等	コーヒーの汚れや茶しぶは水中の鉄分が原因です。汚れを防ぐにはカップを使ったらすぐにすすいで水から出すか、又は、洗剤を多めに使用したり、リンス剤 (すすぎ仕上液) を使用してください。(60℃ぐらいの水温が適切です）汚れを落とすためにカップ 1/4 の温水にカップ 1/2 の漂白剤を入れて手洗いした後、よくすすぎ洗いをしてください。
陶器や瀬戸物のひび割れ	古い皿等は高温水に弱く、一度ひび割れしもの (表面の細かいひび) は元にもどりません。食器洗い機で洗うとひび割れがひどくなります。
プラスチック製品の変色	トマトソース等の食料品はプラスチック製品を汚します。汚れた場合はカップ 1/2 の温水にスプーン 1 杯の食器洗い機用洗剤でよく洗ってください。
ステンレス製品の変色	食物の汚れは変色の原因となりますので、使用後すぐに水洗いしてください。食物の汚れは、スチールウールやクレンザーで落として、その後はきれいに水洗いします。
汚れの落ちなかった食器	様々な原因が考えられます。P20 を参照して正しい処理を行ってください。
乾ききっていない食器	リンス剤 (乾燥仕上剤) や高温水を使用すると、乾燥を早めます。器類のセットの仕方も重要です。水切れがよくなるようにカップや茶碗をふせて、陶器同士が接触しないように正しく置いてください。 また、食器洗い機に入るお湯の温度が低いとき (最低でも 60℃の給湯温度が必要です) や、オプションスイッチのヒーター乾燥 (heat dry) を "Off" で運転すると乾きにくくなりますのでお確かめください。
模様のある金属の柄の色あせ	模様や柄は何度も洗っていると、洗剤や湯水で色あせます。現在、市販されている陶器は特種加工がされているものがありますが、古いものや金のふち取りの陶器はあせてきますので、陶器メーカーに問合せるか、3 ～ 4 週間 1 つの陶器で試し洗いをして、色があせるかどうか確かめてください。 ※骨とう品、手書きの陶器、手焼きの茶碗は手で直接洗ってください。
陶器や金属表面に描かれた絵柄の色あせ	これ等の絵柄は何回も洗っているうちに、洗剤や湯水で色あせます。中には色あせを防ぐため表面に特種加工してあるものがありますが、念のため、洗浄する前に食器メーカーにお問合せください。 ※骨とう品、手書きの陶器、手焼きの茶碗は食器洗い機で洗わずに手で直接、洗ってください。

6．故障かな？と思ったら

安全上の注意

⚠ 警告

●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造は行なわないでください。
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

⚠ 注意

●食器洗い機に、異常がある場合は、次の各項も確認の上、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検、修理をご依頼ください。
感電や漏電・ショート等による火災のおそれがあります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。

※サービスを依頼される前にもう一度ご確認ください。

問題点	原因	処理方法
A　正常に運転しない場合 ●食器洗い機が作動しない。	1. ドアが半開きで、開閉ラッチかかっていない。	1. ドアを閉め直し、ドア上部中央を押さえカッチンと音がするところまで閉めてください。
	2. 洗浄サイクルをセットしていない。	2. 洗浄サイクルパッドを押してください。
	3. ヒューズが切れている。	3. Ｆの「電気による故障」を参照してください。
	4. 各パッドをしっかり押していない。	4. 各パッドをしっかり押してください。
B　湯水によるトラブル ●食器類が乾いてない	1. リンス (乾燥仕上剤) を使用していない。	1. 水気を早く取除くリンス (乾燥仕上剤) を使用してください。(P11 リンスの項参照)
	2. リンス (乾燥仕上剤) ディスペンサーが空になっている。	2. 液体のリンス (乾燥仕上剤) を入れてください。
	3. 水が食器類に残っている。	3. 食器洗い機がとまったら、ドアを開け、10 ～ 20 分間自然乾燥をしてください。
	4. 水温が 50℃以上になっていない。	4. 食器洗い機を運転させる前に近くの蛇口を開け、温度が十分に高いか確かめてください。(50 ～ 60℃)
	5. 食器類が正しく置かれていない。	5. 食器類は互いに接触しないように、また水はけがよくなるように傾けて置いてください。
●水漏れがする	1. ドアがきちんと閉まっていない。	1. 食器類や鍋類がバスケットから飛出し、ドアが閉まらなくなっていないか確かめます。
	2. 適当な洗剤が入れられていない。	2. 食器洗い乾燥機専用の洗剤を入れます。
●お湯が十分満たされていない	1. 給湯のバルブが開いていない。	1. 給湯バルブを完全に開けてください。
	2. 運転中に他の場所でお湯が使用されている。	2. 給湯圧が下がりますので、洗浄中に他の場所でのお湯の使用はやめてください。
●水はけが悪い	1. 庫内の底部に少量の水がたまっている。	1. 正常です。
	2. 食べかすが流し台の排水パイプに詰まっている。	2. ディスポーザーをシンクに取付けてある場合は、食器洗い機をスタートさせる前にディスポーザーの中が空になっていることを確かめてください。
●食器洗い機やバスケットに水滴がついている	1. 乾燥を終了しても余分な湿気がある。	1. 正常です。リンス (乾燥仕上剤) を使用して乾きを早めてください。

問題点	原因	処理方法
C　騒音について ●シューという音がする	1. 噴射回転アームから水が噴射されている。	1. 正常です。
●振動したり、ガタガタという音がする。	1. 食器類が正しく置かれていない。	1. 食器類がお互いに接触しないようにしっかり置いてください。
●時計のようにカチカチという音がする。	1. 噴射回転アームが回転する時、鍋の柄や他の物にぶつかっている。	1. 噴射回転アームにぶつからないように食器類を置きます。
D　汚れが落ちていない	1. 食器類がきちんと置かれていない。	1. お皿の場合、汚れている面が中央になるように置いてください。
		1. 食器類が重ならないようにしてください。
		1. 噴射回転アームにぶつからないようにしてください。
		1. 洗剤カップが開かなくなるので、バスケットから鍋の柄等が飛出していないか確認してください。
	2. 下段バスケットが正しい位置に置かれていない。	2. バスケットのローラーの下に障害物がないか確かめてください。
	3. 洗剤量が正しくない。	3. 食器等の汚れ具合に応じて洗剤量を調節してください。又、硬水の場合は軟水の場合より多めの洗剤が必要です。
		3. 洗剤カップが自動的に開かなくなるので洗剤を入れすぎないようにしてください。
		3. 洗剤の量を増やしてください。
		3. リンス (乾燥仕上剤) を使用してください。水気を早く簡単に取除きます。
	4. 固まりのある古い洗剤は使用しない。	4. 洗剤を入れる前に箱をふって洗剤が湿っていないか確かめてください。
	5. 水温が低すぎて (50℃以下) 汚れがきれいに落ちない。	5. 食器洗い機を運転させる前に近くの蛇口を開け、温度が十分に高いか確かめてください。(50 ～ 60℃)
		5. 温度を計り、50℃の水温が保たれているか調べ、50℃以下の場合は湯沸かし器を調整してください。
		5. 食器洗い機を使用する前や使用中、家庭内の他の場所で多量のお湯を使用しないでください。
	6. 水の硬度が 10.6 グレイン以上である。	6. 水質軟化装置を使用してください。
	7. 食器洗い機の湯水が十分でない。	7. この項Ｂ「お湯が十分満たされていない」を参照してください。

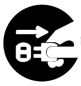
問題点	原因	処理方法
E　洗剤と泡だちの問題 ●泡のたちすぎ	1. 洗剤の入れすぎ。	1. 洗剤は指示された量だけ入れてください。
	2. 台所用液体洗剤を使用している。	2. 食器洗い機専用洗剤を使用してください。
●洗剤が洗剤ディスペンサーに残っている	1. 固まりのある古い洗剤を使用している。	1. 新しい洗剤を使用してください。
	2. 洗剤カップに洗剤が多量に入っている。	2. 洗剤カップに洗剤を入れすぎないようにしてください。洗剤ディスペンサーが自動的にひらきにくくなります。
		2. 下段前方部分からフライパンや鍋の柄が突き出ていると洗剤ディスペンサーが開かないので、突き出ていないか確かめてください。
F　電気の問題 ●ヒューズが切れたりブレーカーが落ちたりする。	1. 電気を使いすぎる。	1.15A のヒューズや 15A のブレーカーを専用回路で使用してください。
	2. 使用しているヒューズやブレーカーが合っていない。	2. 食器洗い機とディスポーザーが同じ回路なら 20A のヒューズや 20A ブレーカーが必要です。

以上の点をご確認のうえ、なお異常があるときはお買上げの販売店にご連絡ください。
●型式　●据付年月日　●故障状況　について内容をご連絡ください。

安全上の注意

⚠ 注意

●長時間ご使用にならないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。



7．保証とアフターサービス

保証書について

(1) この食器洗い機には保証書がついています。保証書は販売店にて所定の事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をよくお確かめの上、大切に保存してください。
(2) 保証期間は、お買い上げの日から１年間です。保証期間内の故障のうち製造上に起因する故障については、保証書の規定に従って無償修理いたします。
(3) 保証期間後の修理については、お買い求めの販売店またはツナシマ商事までご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

点検のお願い

次のような症状やその他の異常があるときは、事故防止のため直ちに本機の使用を中止し、お買い求めの販売店またはツナシマ商事まで点検・修理をご依頼ください。

●水漏れがある
●こげくさいにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がする
●食器洗い機に触れると、ビリビリ電気を感じる
●その他の異常や故障がある

修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に、P18の「6．故障かな？と思ったら」をよくお読みの上ご確認の後、直らないときはまず主電源スイッチをオフにして、お買い求めの販売店またはツナシマ商事までご連絡ください。

お伝えいただきたいこと	
品名	ホワイトウエスティングハウス 食器洗い機
型式	FFBD2408
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ詳しく

補修用性能部品の保有期間

食器洗い機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後６年です。

●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です

お問い合わせは

株式会社ツナシマ商事　東京：TEL 03-3833-1331
大阪：TEL 072-657-9907
E-Mail:service@tsunashimashoji.co.jp

8．消費者生活安全製品法 (消安法) について

本製品は消費者生活安全製品法（消安法）で指定される特定保守製品です。

●特定保守製品とは・・・

「消費生活用品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況からみてその適切な保守を促進することが適当なもの（消安法第 2 条第 4 項）」として指定された製品です。

●法定の所有者登録をしましょう。

特定保守製品の所有者は、この製品の製造（輸入）事業者に法定の所有者登録をすることが求められております。（消安法第 32 条の 8 第 1 項及び 2 項）。製品に同梱した「所有者票」に記載して投函又は電話にてご登録をお願いします。ご登録がお済でない方や、所有者登録に内容に変更が生じた場合には、速やかにご登録及び、ご連絡をお願いいたします。

ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法及び当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、法定点検、リコール等製品安全に関するお知らせをする以外には使用致しません。

■所有者登録の方法

・所有者票（返信はがき）でのご登録

・電話でのご登録

●法定の点検通知をいたします。

法定の所有者登録をいただいた方に、法定の点検通知をいたします。（消安法第 32 条の 12）。

引越し等で所有者登録の内容に変更が生じた場合には上記の変更登録お願いします。

●法定の点検時期が到来したら、点検を受けましょう。

特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、製品毎に設定された点検期間中に点検を受けることが製品の所有者の責務として求められております（消安法第 32 条の 14）。本製品に表示されております点検期間が到来しましたら、忘れずに点検を受けましょう。

なお、法定の点検後もご使用を継続する場合には、こまめに点検を受けることが本製品を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。

【本製品の設計標準期間について】

本製品は設計標準期間※を 5 年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがございます。

※設計標準期間とは、標準的な使用条件（次項の＜設計標準使用期間の算定の根拠＞参照）の下で適切な取扱で使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品毎に設定されるものです（消安法第 32 条の 3)。　メーカー無償保証期間とは異なるものですのでご注意ください。

●設計標準使用期間の算定の根拠

本製品の設計標準期間は、製造年月を始期とし、以下の使用条件を想定して、当社において耐久試験等を行った結果算出された数値等に基づき、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設計標準期間を設定しております。

区　分	項　目	規　格
環境条件	電源電圧	単相　100V
	電源周波数	50 / 60Hz
	温度	20℃
	湿度	相対湿度　65%
	設置状態	設置説明書による
負荷条件	食器	定格食器負荷
	コース	通常洗浄
	給水圧	0.13 ～ 0.82MPa
	給水温度	20 / 60℃
想定時間	1 日の使用回数	2 回
	1 年間	365 日

試験条件は JIS C 9920-1 による

注意

本製品の上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用条件などでお使い頂いた場合においては、設計標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されますので、製品に表示している点検期間よりも早期に点検を受けましょう。

具体的な点検時期は、**（株）ツナシマ商事（03-3833-1331）**にお問い合わせください。

製品の目的外の用途で使用したり、業務用に使用されるなど、上記の標準使用条件と異なる環境でご使用された場合も設計標準使用期間の到来前に経年劣化等による重大事故発生のおそれが高まることが予想されますので、このようなご使用はお控えいただくようお願いいたします。

【点検を行う事業所の配置その他体制に関する事項】

本製品の点検等に関するお問い合わせは下記の連絡先よりお願いいたします。

●㈱ツナシマ商事

TEL：03-3833-1331　　FAX：03-3836-2515

●受付時間／平日　9：00 ～ 18：00

※年末年始を除く

●点検料金について

点検費用はお客様がご負担いただくことになります。また、点検の結果、整備が必要になった場合は、別途整備費用が発生いたします。

点検料金は技術料、出張料を合計した金額となります。なお、点検料金の設定の基準は、下記のアドレスからご覧いただけます。

http://www.tsunashimashoji.co.jp

及び具体的な点検料金につきましては、上記の連絡先にて電話にてご確認いただけます。

【本製品の点検の結果、必要になると見込まれる部品の保有期間】

製造打ち切り後１０年

※上記部品は経年劣化により不具合が発生するおそれのある箇所に関する部品及び補修用性能部品（製品の機能を維持する為に必要な部品）です。

【本製品の清掃、その他日常的に行うべき保守の内容及びその内容】

製品を安全にご利用いただくためには、お客様においても日常的に清掃や安全確認を行っていただくようお願いいたします。清掃や異常を感じた場合の処置を行う際には、製品の電源スイッチをオフにして、電源プラグを抜いてから行ってください。

●清掃

取扱説明書をよく読み、正しい方法で行ってください。

●安全確認

下記のような症状がありましたら、使用を中止し、点検・修理をご依頼ください。

①スイッチを入れても時々運転しない。

②運転中に異常な音や振動がする。

③本体ケースが変形していたり、異常に熱い。

④焦げ臭いにおいがする。

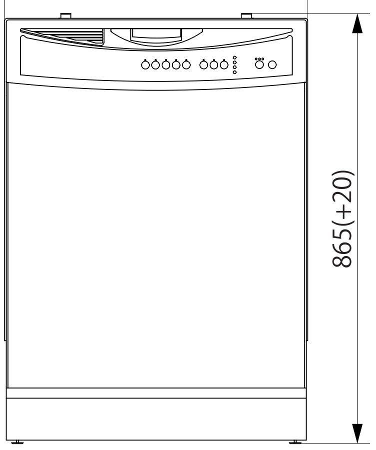
⑤さわるとビリビリ電気を感じる。

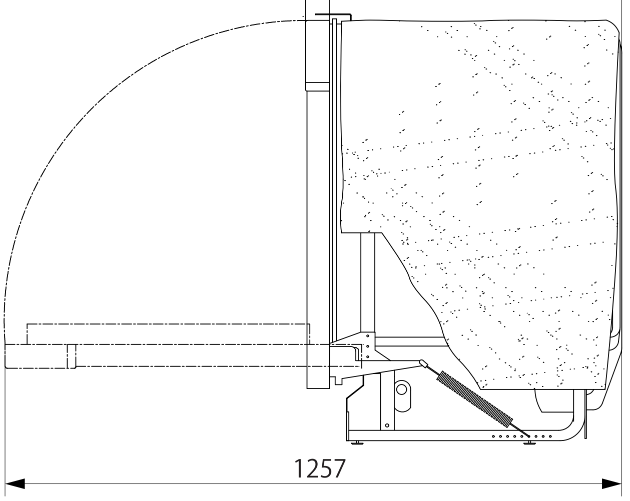
⑥その他異常や故障がある。

⑦水漏れがある。

8．仕様

寸法図





仕様

型式		FFDB2408
設置方法		ビルトイン
ドアパネル		ホワイト
電気定格	電圧 (V)	単相 100V
	周波数 (Hz)	50 / 60
	消費電力 (W)	1045 / 1050
	モーター (W)	385 / 390
	ヒーター (W)	900
	電流 (A)	15
給湯設備	給湯温度 (℃)	50 ～ 60
	必要出湯量 (ℓ/分)	6
	給湯圧力 (kg/㎠)	1.4 ～ 8.4
洗浄容量		14 人分
ノーマル洗浄（乾燥時間含む）	使用湯量 (ℓ)	23.1
	運転時間 (分)	84
乾燥方法		余熱乾燥・ヒーター通気乾燥
単独乾燥プログラム		無
機器外形寸法 (W × H × D)㎜		610 × 865 × 635
設置間口寸法 (W × H × D)㎜		615 × 870 × 650
本体重量 (kg)		38

Memo

Memo

Memo

愛情点検	ご使用の食器洗い機の点検を！
	据え付けしてから４～５年経過しましたら、より長い期間安全にお使いいただくために、点検をおすすめします。 点検はお買い上げの販売店、または当社のサービス受付窓口にご依頼ください。

総輸入元

株式会社 ツナシマ商事

http://www.tsunashimashoji.co.jp/

本　　社　〒113-0034　東京都文京区湯島 3-20-12
電話 03-3833-1331（代）

大阪営業所　〒567-0031 大阪府茨木市春日 1-16-11 2F
電話番号 072（657）9907

2013 年 01 月